



第73号

木曽川町連区

HP



地域づくり協議会だより

【発行日】令和7年12月1日 【発行者】木曽川町連区地域づくり協議会

☎493-0006 木曽川町内割田一の通り27(木曽川庁舎内)

【メールアドレス】k-chiiki@orihome.ne.jp ☎84-0005

【ホームページ】https://138kisogawa.org

総数	男	女	世帯数
33,635	16,484	17,151	15,018

木曽川町連区の人口(2025.10.1現在)

開催レポート

安全安心 部会

「ハグの講習会」・・・「ハグ」って何？ 案内には「HUG」と書いてある。

9月7日(日)木曽川公民館にて「HUG」の講習会が開催されました。

「HUG」とは、避難所のH、運営のU、ゲームのGの頭文字を取り「HUG」となり、実際に災害が起きたときに避難所をどのように運営していくのかを模擬体験する「防災ゲーム」なんです。

今回は、地域の70名の方々が参加して、避難所となる木曽川地区の3小学校と中学校の全体の図面を見ながら、次々と起こる、まるで現実かのように降りかかる課題、例えば避難所が「停電で電気は使えない」「水は出ない」という状況下に「ペットを連れた家族が避難を」「持病を持つ高齢者の方が・・・」「受付はどうする？」「トイレが使えない」「赤ちゃんは？発熱した人は？」など数々の問題に対処策を皆さんで考え、意見を出し合い、議論していきました。

グループに分かれて話し合いましたが、中には全員立ち上がって討論しているなど、どのグループも白熱しておりました。体験後、各グループの発表もありましたが、運営の難しさだけでなく、気づいた事や、具体的なアイデアなど前向きな意見も多く、木曽川地区の力強い皆さまに心打たれました。

地震だけではなく台風や豪雨など、多くの災害が起こる危険性を秘めている現在、HUG講習を通して実際に災害が起きたときの現実を知り、具体的な対策を立て、行動することや支え合い、コミュニケーションを取ることの大切さや必要性などを共有できた時間となりました。

今後も「災害が起きたとき、どうしたらいいのか？」を地域でも伝えていきたいと思います。(受講者 K.Mさん)



公民館

文化祭



文化祭が10月25日(土)26日(日)に木曽川公民館で開催されました。11団体、2個人で総出展数530作品が、3歳から90歳を超える皆さんの力作揃いで迫力ある作品展覧会となり、来場者は750名を越えました。

花園幼稚園・きそがわ幼稚園さんの似顔絵や絵日記を始め、木曽川中学校の書道部・絵画クラブの皆さんの元気溢れるプロ顔負けの作品に感激致しました。又、美しいボディが壮大に立ち並ぶ中村ソーイングさん、ステンシル技法を活かしたファブリックの皆さんの洋服はどれも素敵な作品ばかりでした。毛筆かなクラブ・自由書クラブ・木曽川クレパス教室・自由書倶楽部キッズ・ジュニアの皆さんの見事な毛筆の作品に心動かされました。

美しい映像のめい写真さんの写真、若葉会さんの帯結びも、「うわ～綺麗！」と思わず声が出ました。おはなしグループいろりんさんのクリスマス・タペストリーシアター、サンタの動くバケツも笑いを誘いました。素敵な色合いの染色で作られたタペストリーは大変立派な作品で、秋の気配が美しい生け花やキラキラと輝くガラス工芸の中には思わず触れたいくなるような作品もありました。

個人の作品では幽玄な表情の能面や、イングリッシュガーデンの薔薇の香りが漂ってくるかのような美しい絵画に魅了されました。今年初めて出品の介護施設あかりの家さんの、とても細かな折り紙で作られた四季折々の作品は温かいぬくもりを感じました。新しい試みの、福の神座さんによる紙芝居は多くの方が感心され喜ばれました。

公民館魅力部の盆踊り・文化祭・芸能祭等の紹介、女性学習部の干支の作品・かごづくり・豆畳・もち花等、成人学習部の樹脂粘土の薔薇の作品や、家庭学習部のステンシルの親子の作品等、写真やチラシにより活動の広さ奥深さを感じられる各部活動の紹介もありました。地域づくり協議会のジュニアトークの展示は、木曽川町の未来に向けた子ども達の素晴らしい構想が頼もしく思えました。また北黒田西部区の展示は、水害時のイオンモールへの避難訓練の様子や災害に対する心構えを教えていただけるものでした。更に抹茶のおもてなしは、木曽川中学校の生徒さんのお手伝いもあり、秋の素敵な和菓子が大変喜ばれ完売になりました。秋たけなわの良き文化に触れていただけたひとときとなりました。



9月14日(日)木曽川町一豊まつりを開催しました。

今年は「戦国時代パレード」も天候に恵まれ、大変多くの観光客にお越しいただき、会場は大盛況でした。また昨年と同様に山内一豊公にあやかる「出世の町、木曽川町」をPRするため、パレード前に陣屋(古民家・旧神田邸)において軍評定と評して特別来賓と主役の皆さんが戦国時代にタイムスリップする特別な時間を過ごしていただきました。

ステージイベント会場となった黒田小学校体育館では、一宮太鼓保存会の太鼓演奏をオープニングに、一宮起工科高等学校ジャズオーケストラ、一宮ストリートダンス協会のキッズダンス、一宮鳴子踊り連合会の踊り、新心流居合術による演舞、サックス侍によるスペシャルライブなど、パフォーマンスを楽しんでいただきました。また小学校の運動場では「楽市楽座」として美味しい食べ物・飲み物の販売や楽しいゲームなど多くの出店で賑わいました。

サブ会場のイオンモール木曽川会場では主役紹介に加えて、地元の学生や地域住民の皆さんのステージイベントを開催しました。同じくサブ会場のアピタパワー木曽川店では同店舗の2025円以上のレシート提示で先着200セット限定ですがお菓子のプレゼントを行いました。イオンモール・アピタパワー会場でのイベントも大勢の方が訪れ、皆さんに大いに喜んでいただけた。

来年は11月上旬の開催を検討していますので、よろしくお願いします。
(木曽川商工会)



開催
レポート
(女性部会)



認知症ステップアップ講座

9月27日(土)木曽川公民館にて、認知症ステップアップ講座が開催されました。この講座は、7月に行われた認知症サポーター養成講座から更に踏み込んだ内容で、認知症の家族をもつご家庭や高齢化を受けて、昨年度から始まりました。講師としてキャラバンメイトの内藤様、コムネックスみづほの米澤様、中西様にお越しいただき、22名が受講しました。今回の講座は「1日1回でも笑っていますか?」という講師の言葉がけからスタートしました。内藤様は仕事でも常に、相手に笑ってもらうことを心掛けているようで、「笑う」ことは認知症予防や認知機能の維持にとっても良い効果があるそうです。

認知症は今や誰もががかかりうる病気で、身近な話題として聞く機会も多くなりましたが、偏見も残っています。病気を理解すること、その上で障がいや補いながら今までどおり付き合い続け、さりげなく、自然に援助することが大切だと学びました。

認知症に悩み、無理心中を図った事例も映像で紹介されましたが、やるせない思いで胸がいっぱいになり、涙された方も多くみえました。昔に比べ人間関係が希薄になっているため、孤立した思いで悩み苦しむ方がいることを知り、その後のグループワークでは、集いの場所(サロン)や見守りサービスの充実、防犯カメラの設置(徘徊対策)、家族同士や専門家を交えて悩みが相談できたり、地域でサポートしたりする仕組みが必要だと話し合われました。他の自治体の取り組みへの質問もあり、良い事例に対する関心や取り入れたいという姿勢も見られました。

予防法としては、食事、運動、生活習慣の見直し、睡眠の大切さ、そして1日1回は大笑いをする。皆が安心して、笑って過ごせる町づくりに向けて、学び考えることができました。(受講者 Hさん)



表彰者紹介

9月1日(月)に尾西市民会館で行われた市制104周年記念式典で、地域の福祉・発展に多大な貢献をされた方の表彰・叙勲受章者披露がありました。木曽川町連区5名の方をご紹介します。

五藤政尋さん(叙勲披露)
田中秀雄さん(木曽川商工会、サンリバー)
二村直樹さん(木曽川西消防団)
山内真知子さん(スポーツ推進委員)
四熊麻由美さん(スポーツ推進委員)

みんなのコーナー



いつもの散歩道で
撮りました。どの
辺りか分かりますか?



木曽川配水場
近くです

あなたの身近な高齢者の窓口

地域包括支援センター



全国的に高齢化が進む中、一宮市でも人口約37万人のうち10万人以上が65歳以上の高齢者です。介護離職や認知症など、高齢者をめぐる課題も増えています。

そんな中、「地域包括支援センター」という相談窓口をご存じでしょうか。聞きなじみがないかもしれませんが、全国に約7,000か所以上設置されており、介護や暮らしの不安をワンストップで受ける身近な存在です。今回は木曽川連区を担当する一宮市地域包括支援センター「コムネックスみづほ」についてご紹介します。

【一宮市地域包括支援センター「コムネックスみづほ」とは？】

地域包括支援センターは一宮市が民間に委託する高齢者の総合相談窓口です。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員など専門職がチームとなり、必要な制度や支援に繋がります。一宮市には7つのセンターがあり、「コムネックスみづほ」は木曽川のほか、葉栗・北方の3連区を担当。イオンモール木曽川北側の高齢者施設「コムネックスみづほ」内に窓口があります。



【仕事の内容】

- ★介護サービスや福祉制度の利用相談・申請手続きのお手伝いをします。「どんなサービスを使えばよいか分からない」という方も一から一緒に考えます。
- ★認知症などのもの忘れの相談、専門医療機関の紹介など行うほか、介護負担を感じている家族に介護者同士の交流会を案内するなど介護を担う方への支援も行っています。
- ★高齢者の虐待が疑われる際には実態調査と必要な支援を行います。家族以外の方などから匿名での相談も受け付けています。
- ★サロンや老人会などに出張して福祉や介護の制度を紹介する講座を開いたり、体力測定などイベントも行います。高齢者が集まる場を応援し、地域の介護予防を推進しています。

ここで紹介したのは一例です。「近所に心配な高齢者がいる」「高齢者が集まる場所がほしい」など、身近な悩みが相談のきっかけです。分かりやすい言葉でご案内し、必要に応じ医療機関や市役所、民生委員などとも連携しています。「どこに相談すれば？」と迷った時も悩まずに、電話・来所・訪問などご希望の方法でお話を伺います。小さな不安でも一人で抱えず、ぜひ当センターにご連絡ください。

地域包括支援センター「コムネックスみづほ」(0586-86-5333)

活動紹介

黒田小 園芸ボランティア



今回は、黒田小学校の花壇・菜園で畑作業のボランティア活動をしているグループの紹介です。土、畝づくり、草取り…収穫など生活科や理科の授業等、子ども達や先生の手助けになると嬉しいなという思いで頑張ってください。



どんな活動ですか？



Q. ボランティア活動をはじめられた動機、きっかけは何ですか。

またいつごろから活動をされていますか。

A. 「花壇や菜園を子ども達が使いやすくするお手伝いをしていただける方」を学校が探していると聞いて、有志6名で始めました。2021年4月からで、今年で5年目になります。作業は授業の妨げにならないように毎週土、日曜日か平日4時以降にしております。

Q. 年間を通して、どんな草花や野菜を育てていますか。

A. 学校や学年からの希望に応じて作っています。



1年	ヒマワリ、オジギソウ等	4年	ヒョウタン
2年	サツマイモ、ナス、キュウリ等	5年	ヘチマ
3年	ホウセンカ、大豆、ヒマワリ	6年	サツマイモ、ホウセンカ
ひまわり学級		サツマイモ、パプリカ、キュウリ	

昨年はひまわり学級とクリスマス会をしたり、ハロウィンの催しに招待してもらいました。各学年からはお礼の手紙をいただきました。作業をしていると「いつもありがとうございます」とか「〇〇〇が大きくなったよ」とか、声がけをしてくれます。そんな児童の声を聞くと元気をもらえます。また、野菜嫌いな子が、野菜が育っていく様子を見て食べられるようになったと聞くととてもうれしく思います。仲間みな70歳代です。これから何年続けられるか分かりませんが、できるだけ長く活動を続けたいと思います。(園芸ボランティア K.Yさん)

「あなたのいちおし」写真や地域の情報の投稿をお待ちしています。HPや地域づくり協議会だよりでご紹介させていただきます。地域づくり協議会の公式ラインを「お友達登録」して、トーク画面から投稿してください。

※宗教や政治、利害関係等に関する内容はNG。個人情報等へのご配慮もお願いします。

お友達登録
記念の粗品
プレゼント中

友だち募集中



きそがわ 掲示板

年末犯罪防止活動

- ★12月2日(火)
10:00～11:00 アピタパワー 木曽川店
16:00～17:00 平和堂 木曽川店
- ★12月3日(水)
10:00～11:00 ナフコ 木曽川店
- ★12月4日(木)
17:00～18:00
マックスバリュ 木曽川店 DCM 木曽川店
スーパー三心 玉ノ井店 ゲンキー 玉ノ井店
マツオカ 玉ノ井店
(木曽川町連区防犯委員会)

年末の交通安全県民運動

- 12月1日(月)～10日(水)
12月5日(金) 16:00～18:00 ※県内一斉大監視活動
- ・子どもと高齢者の交通事故防止
 - ・歩行者、自転車、特定小型原動機付自転車の交通事故防止
 - ・交通ルールと運転モラルの遵守
 - ・悪質、危険な運転の根絶
 - ・後部座席を含むシートベルト全席着用の徹底
- (木曽川町連区交通安全会)

子ども作品(ポスター)展示会 玉堂記念木曽川図書館

木曽川町の子ども達の作品が多く展示されます。

- ・明るい選挙啓発作品(ポスター)展示会
12月5日(金)～12月10日(水)
- ・「子ども読書のまち宣言」啓発ポスター
優秀作品展
12月12日(金)～12月21日(日)

小中学校の情報

2学期終業式 12月23日(火)
3学期始業式 1月7日(水)

小中学校のHP

小中学生が頑張っている様子が分かりますよ！

黒田小



木西小



木東小



木中



「きて♪ きいて おはなしフェスティバル」

日時/12月13日(土)
9:30～12:00

会場/木曽川公民館 講堂

- ★読み聞かせイベントです
- ★おはなし会、工作、手芸、クイズラリー等、楽しい企画がいっぱい

親子で絵本にふれあってみませんか？
事前予約にご協力ください

主催/女性部会



公民館講座



芸術の秋



女性学習事業「体力テスト」女性学習部

10/2(木) 女性学級講座の40名程の皆さんが、秋のひとつとき楽しく体力テストに参加されました。『片足で立つだけで転倒予防』できる驚くほど効果的な予防法が紹介されました。「1分間の片目片足立ち」を一日3回(左右計12回)。

次に「握力テスト」。握力計をしっかりと握って「何kg出た?」と、皆さんワイワイ楽しそうでした。そして最後は「5mを何秒で走れる?」のテストです。60歳の平均で3.8～3.0秒の速さだそうです。秋の午後のひととき、自分の体力に関心をもって健康づくりに向き合う姿に大変感動しました。とても有意義な講座でした。

成人・高齢者学習部事業「手芸」成人学習部

10/15(水) 成人講座『樹脂粘土によるバラつくりグラスイン』が開催され、50名程の参加者で賑わいました。

ピンクとグリーンの樹脂粘土を使い可愛いバラの花や葉を作りグラスケースの中に飾りました。「うわ～素敵!」、「むずかしいね。花びらづくりは!」等と、おしゃべりしながらの創作活動です。楽しく和やかな微笑ましい光景いっぱいの講座でした。文化祭に出品するという目標もあり、皆さん目を輝かせながらの作品作りとなりました。「次もまた何か作りたいね」とのお声も聞かれ、次年度の講座内容にも新たなテーマを掲げ企画していきたいと思えます。

きそがわクイズ 答え 木曽川東小学校

R7年度の児童数(5月1日現在)は、木曽川東小626名、木曽川西小620名、黒田小536名です。
木曽川東小は1976年(昭和51年)に黒田小より分離・開校し、本年度初めて他の2校よりも児童数が多くなりました。

参考: 昨年(R6年度)は木曽川東小621名、木曽川西小646名、黒田小544名

10年前(H27年度)は木曽川東小593名、木曽川西小819名、黒田小568名